みんなで進める!

健康おおぐち21 第二次計画



今回はたばこ・アルコール分野について紹介します! たばこ分野・『喫煙しない!』。

大口町の喫煙者の割合は男性26.0%、女性5.1%で、妊娠中の喫煙率は4.9%でした(平 成24年度大口町健康実態調査)。喫煙や受動喫煙をすることで、脳卒中、がん、心筋梗塞、 乳幼児の喘息など様々な病気のリスクが高くなります。また、妊娠中の喫煙は低体重児 や乳幼児突然死症候群のリスクを高めます。自身の健康・周囲の健康を維持増進するに は喫煙しないことが一番です。



◎禁煙するとこんなにいい!

- ・心筋梗塞のリスクが低下する。
- ・咳や痰がとまる。
- ・食事が美味しく感じられる。
- ・口臭がしなくなり、歯周病が改善する。
- ・肌の調子がよくなる。
- ・貯金ができる。

1日1箱(420円) 吸う人の場合

→1年で15万3千円貯まる!

◎禁煙するには・・・

- ・禁煙仲間をつくろう!
- ・禁煙することを周囲に宣言しよう!
- ・気分転換しよう! ガムを食べる、体を動かす、音楽を聴く、 深呼吸をする等
- ・禁煙外来や禁煙の薬を活用しよう! 病院や薬局で相談できます!



アルコール分野_『楽しく健康的に飲めるお酒の量を守る』

過度の飲酒は脳の萎縮、アルコール依存症、脂肪肝、肝硬変、むし歯や歯周病等の健康被害を及ぼ します。皆さん、節度ある適度な飲酒量をご存知ですか?飲みすぎていませんか?

適度な飲酒量は1日平均純アルコール量で約20g程度です。



※純アルコール量=飲んだ量(ml)×度数(15度もしくは15%なら0.15)×0.8

(厚生労働省「健康日本21 はり引用)

護保険制度や高齢者福祉制度をおこなっています。 大口町ではいくつになっても自分らしく暮らせるまちを目指して、

介

介護保険制度

①介護予防事業 (体力アップ教室・脳力アップ教室

回6か月を限度、所得に応じて利用負担があります。 方に対して、予防や改善を目的に教室を開催しています。 生活機能チェックで、心身や認知機能が低下している可能性がある (利用は月8

②高齢者のトレーニングジム・温水プールの利用助成事業

円、毎月各11回の利用ができるように「いきいきカード」を発行します。 ください。 ご本人確認のため健康保険証や運転免許証などをお持ちの上申請して 66歳以上の方を対象にトレーニングジム・温水プールを1回100

高齢者福祉制度

①在宅生活支援費事業

9割または8割を補助します。 用具および補高便座の購入に対して、対象額17万円を上限に対象金額の 転倒予防を目的に70歳以上の高齢者を対象に手すりの設置・入浴補助 ※購入・設置前に事前にご相談ください。

②タクシーの基本料金の助成

料金の助成をおこないます。 世帯の方、要介護1以上の認定を受けた方に対して、タクシーの基本 町民税非課税で80歳以上の高齢者の方又は75歳以上の単身・高齢者 (申請には印かんが必要です。)

③訪問理美容事業

円の助成をします。(理美容代は実費) 訪問し、理美容をしてもらうことに対し、 要介護3以上、70歳以上の単身者、75歳以上の高齢者世帯のお宅に 訪問代として1回1000

て生活を続けられるように支援 をおこなう機関です。 んが、住み慣れた地域で安心し 大口町地域包括支援センター 高齢者や障がいのある皆さ

主な仕事

▽総合相談窓□

便

ぎします。 受け付けています。困りごと 高齢者や障がい者、 により適切な関係機関へお繋 こ家族やご近所の方の相談を またその

▽介護予防活動

す。 団体への出前講座をしていま 介護予防教室開催の案内や各

高齢者と障がい者の総合相談窓口

〉権利擁護

地域包括支

力しておこなっています。 めの取り組みを関係機関と協 者虐待の早期発見や防止のた 消費者被害への対応や、高齢

>安心して暮らせる町づくり

携し、支援をしています。 医療機関や行政機関などと連 高齢者や障がい者も安心して 大口町に住み続けられるよう

問合せ先

大口町地域包括支援セン

大口町地域包括支援センター (社会福祉法人おおぐち福祉会

69-2227

94-0051 健康生きがい課

